

## 挨拶：馬場広由己（大阪府商工労働部長）

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました大阪府商工労働部長、馬場広由己でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

西日本ブロックの労働者協同組合周知フォーラムの開催にあたり、ご挨拶を申し上げますとともに、本日は合わせて大阪府の取り組みにつきまして、紹介させていただきます。

本日は、労働者協同組合周知フォーラム西日本ブロックへのご来場、また、たくさんの方のオンラインでのご視聴、誠にありがとうございます。そしてこのたびのフォーラムの開催に向けましてご尽力を賜りました厚生労働省の皆様、日本労働者協同組合連合会の皆様、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンの皆様、京丹後市の中山市長はじめ本日も登壇いただきます皆様に厚く御礼を申し上げます。  
ありがとうございます。

先程の堀井局長様のご挨拶にもありましたとおり、労働者協同組合は、会社のように、雇う、そして雇われるという関係ではなく、働き手が自ら出資して組合員となり、組合員自らの意見を適切に反映しながら、地域の課題を解決し、貢献するための事業をおこなっておられます。地域において多様な分野で新たな働き方を実現していく、そのような労働者協同組合に寄せられる期待は、大変大きなものがございます。

大阪府といたしましても、昨年度から、労働者協同組合の周知・啓発、設立の支援等に取り組んでいるところでございます。

昨年10月の法施行に先立ちまして、まず7月に組合設立の届出等に関する専門の相談窓口の設置とともに、労働者協同組合法に関するホームページを開設いたしました。

8月には、法の趣旨を解説するとともにその取組事例を紹介するセミナーを開催するなど、広くPRに努めてまいりました。

また、10月の法施行後は、労働者協同組合の設立に向けたイメージを府民の方々に持っていただくために、今年の2月から3月にかけて、住民に身近な地域でのセミナーを府内4市で開催いたしました。

今年度も引き続き、市町村と連携して実施してまいります。

これらセミナーを開催する中で、労働者協同組合の設立にあたって、定款の作成が1つのハードルとなっていることが窺えましたので、厚生労働省の監修のもと、全国に先駆け

「労働者協同組合モデル定款」を作成し、公開させていただきました。

こうした周知啓発とともに、設立の意思を有しつつも設立方法が分からない方に対しまして、今年度からは、専門家による個別相談で具体的な設立支援を行っております。モデル定款と設立支援事業は、大阪府のホームページでご確認いただけますので、設立をご検討されている方は、是非ご活用いただき、ご参考にしていただければと思います。

今後も、多様な働き方を実現し、地域課題に取り組むための新たな組織として期待されている労働者協同組合がますます広がることを期待して、厚生労働省や府内の市町村と連携した周知啓発や設立支援の取り組みを進めてまいります。

さて、「2025年大阪・関西万博」まで600日を切りました。11月30日には入場券の販売もいよいよ始まります。大阪府といたしましては、「未来社会の実験場」のコンセプトにふさわしいものとなるよう「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」など、日本での展示などに全力で取り組んでいるところでございます。

国と地元関西が一丸となって、「いのち輝く未来社会のデザイン」を具現化してまいりますので、どうぞ皆様、是非2025年、大阪・関西にお越しくださいませ。あわせて、万博を起爆剤とした大阪の成長発想を実現し、働き住みやすい大阪づくりを強力に推進してまいりますので、こちらもご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、本日ご参加いただきました皆様の、今後ますますのご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とご説明にさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。